公民館報
ちくま
No.101
2024.12.1
長野県千曲市

大人としゃべり場
トークフォークダンス！

11月11日（月）、戸倉上山田中学校で「トークフォークダンス」が開催されました。

「トークフォークダンス」は、短い時間でフォークダンスのように相手を変えて、司会者の出すテーマに対して一対一で語り合うイベントです。

同中１年生全員と地域の大人140人が参加し、異なる世代間の交流の場となりました。

《主な掲載記事》

上山田文化祭開催 …… 2
各館の活動報告 …… 3～6
リレーエッセイ・成人式のお知らせ … 7
もっと知りたいふるさと …… 8
（稲荷山）

第53回 上山田文化祭開催

上山田文化祭実行委員会主催の上山田文化祭が11月3日（日・祝）・4日（月・振替休日）に開催されました。

展示発表・舞台発表・のど自慢大会・囲碁大会・青空市・図書交換会に大勢の方々が来場され、おおいに盛り上がりました。

舞台発表では、20団体が出演し、展示発表では、21団体が出展されました。

上山田文化祭も今年で53回目を迎え、「みんなが主役、みんなで創ろう」をテーマに地域のみなさんが集える一大イベントとなりました。

展示発表

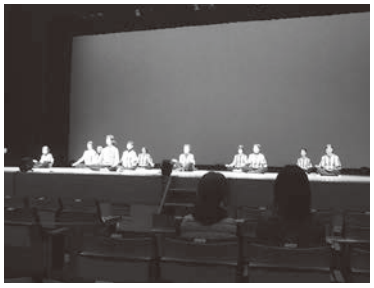
今年の初講座「ウェーブリング」を使ったストレッチの体験会です

「えびす学級」の作品発表

成人講座「楽しく手習い」力強い作品がならびました

舞台発表

「なでしこの会」練習の成果を発揮して歌えました


ヨガの舞台発表集中しています

成人講座「大人の音楽教室」です「音」を楽しみました

のど自慢大会

楽屋で出場者集合！

出演者のみなさん全員で歌いました

大熱唱で会場が聞きほれていました

図書交換会

不要図書を譲渡目当ての本を探しています

青空市

恒例の上山田小学校のぎんなん30分で完売しました

囲碁大会

白熱した対局です

各館の活動報告

埴生公民館

「ボッチャ大会」声援…〝オ～〟と〝ア～ァ〟

鋳物師屋分館長　轟　和男

令和６年度の埴生地区市民運動会は、昨年と同じくボッチャ大会として、９月29日（日）に埴生小学校体育館で行われました。

埴生地区８分館よりそれぞれ２チームが参加しての大会です。予選は４ブロックに分けリーグ戦を行い、決勝はトーナメント方式で対戦をしました。大会の10日ほど前には練習日も入れ、大会では鋳物師屋Ａチーム・Ｂチームともに５名編成で参加しました。他の分館では小さな子どもたちも選手として参加しており、昨年より年齢層も広くなっていると感じました。私も事前講習を体験して、誰でも無理なく参加でき、おもしろいなあと思っていました。そのような取り組み易さもあってボッチャが広まってきているのだと思います。

どっちが近い？みんなで確認中

ねらいを定めて“いけ～”

競技中は終始、時折出るスーパーショットに思わず〝オ～〟と出るどよめきの声…。スポーツ推進委員さんも一緒になって感心する場面が多々見受けられました。

対戦中もお互いのチーム同士で素晴らしいショットや惜しい場面で声援が飛び交い、和やかな試合運びで、選手の皆さんも楽しんでやっている様子が見受けられました。他のチームもボールの投げ方やコースなどを考え作戦を立てているのが観ていても面白かったです。終わってみれば応援していただけなのに結構疲れてしまいました。鋳物師屋分館は昨年は準優勝でしたが、今年は楽しんで参加した結果、優勝となり「終わりヨシ」でした。

選手の皆さん、関係者の皆さん、大変お疲れ様でした。

優　勝　鋳物師屋Ａチーム
準優勝　杭瀬下Ｂチーム
３　位　桜堂Ｂチーム

優勝の鋳物師屋Ａチームのみなさん

屋代公民館

分館対抗野排球大会

屋代公民館副館長　北澤　潔

例年は、６月に行われていた伝統ある野排球大会を、今年度は11月３日（日）に季節を変えて行いました。

残念ながら前日の降雨の影響でグラウンドの状態が悪く、野球は中止となりました。

ソフトバレーボールは戸倉体育館で開催され、どの試合も熱戦が繰り広げられました。

●野球（第65回）
県民グラウンド・戸倉Ａグラウンドともコンディション不良のため中止

●ソフトバレーボール（第54回）
優　勝　屋代第３分館
準優勝　屋代第５分館
３　位　屋代第４分館
土口分館

昨年に続き優勝！屋代第３分館

白熱の決勝戦です

屋代公民館

子ども科学教室

子ども科学教室に参加して

屋代小６年　中山　壮真

８月１日（木）、弟とお父さんといっしょに、屋代公民館の科学教室に行きました。ぼくたち以外にも、友達がたくさん来ていました。

屋代高校附属中科学班の中学生の皆さんが進行して、実験を進めていきました。

最初の実験は、身近な物で電池を作ることをしました。レモンやスポーツドリンク、サラダ油、スライムなどの物に、金属の板をくっつけます。金属の板の先には、電気が流れると音楽が流れるオルゴールがついています。レモン、スポーツドリンク、スライムは電気が流れて音楽が聞こえました。他にも炭酸水などでやったり、炭とアルミホイルを使って実験したら、電気が流れました。

レモンは電池になるのかな？

次に、何個かの紙コップの上に板を置いて、その上に乗ってもつぶれない実験をしました。紙コップに体重が分散されるので、思ったよりも少ない数の紙コップでもつぶれませんでした。ぼくは５個で乗ることができました。

この科学教室に参加して、とても良い体験をすることができてよかったです。

紙コップ、つぶれ・・・ない！

子ども科学教室の体験

屋代高附属中２年　宮坂　桜輔

８月１日（木）に行われた「子ども科学教室」に発表・進行側として参加させていただきました。

私たちの発表内容は「備長炭電池」と「紙コップの上に乗る」の２つです。

備長炭電池では、アルミホイルと食塩水、備長炭を使い、電池を作りました。

紙コップを使った実験では、紙コップの上に板を乗せて、その上に人が乗るというものです。一番軽い人は紙コップ３個で乗ることができて、会場に衝撃が走りました。私の体重は紙コップ５個が限界でした。この「紙コップの上に乗る実験」は家で簡単にできるからか、かなり盛況で、参加者から「家でもやって体重を測ってみたい」といった声が聞かれ、とてもうれしかったです。

参加した小学生の皆さんと一緒に実験をすることができて楽しい会になりました。このような貴重な場を与えてくださり、ありがとうございました。来年も機会がありましたら、是非参加させていただきたいと思います。

限界! 体重を支えられずつぶれました

八幡公民館

分館対抗ボッチャ大会

志川　坂井治夫

10月６日（日）、八幡小学校体育館においてボッチャ大会が開催されました。

昨年に続き分館対抗スポーツ大会でのボッチャは２回目でしたが、会場には100名を超える老若男女が集まり熱気あふれる中で試合が展開されました。

ボッチャは、赤・青それぞれ６球ずつのボールを投げて、的となる白いジャックボールにいかに近づけるかを競います。思った所に行ったり、行かなかったりで、皆さん方は一喜一憂されていました。

緊張の一投！

予選リーグ、決勝トーナメントと進むにつれて、各チームとも試合のコツをつかみ、作戦を立て、徐々に向上した投球で白いジャックボールに近づけて得点に結びつけていました。またチームの内外からも「ナイスボッチャ！」や「惜しい！」と言う声援、歓声・拍手が起こって、終始和やかに終わり、峯分館が優勝しました。

パラリンピックの種目であるボッチャが地域の中で、外に出づらいお年寄りや障がいのある方たちが一緒に楽しめるスポーツとして普及していってほしいと思います。

優　勝　峯　分館
準優勝　辻　分館
３　位　大池分館

ナイスボッチャ！

戸倉公民館
5年ぶりの戸倉地区運動会

上徳間分館長　齋間　紀一

10月6日（日）、第60回戸倉地区運動会が、コロナ禍後5年ぶりに盛大に行われました。

当日の競技も時代の流れのせいか、コロナ禍後で人が集まりにくく、種目が3分の2に減り、順位も付けない形の午前中での終了となりました。

はじめは、順位の付かない運動会はどうかな？と思いました（小学校の運動会も順位を付けないようですが）。

元気に選手宣誓！

今までは優勝を目指して選手選考をしていたものを、今回は、綱引きの選手に小学生が入ったり、大人の種目でも子どもたちが出場して、順位は関係なく、皆さんが声援を送っていました。

どこの地区でも人集めが大変なせいか種目によっては棄権する地区もありましたが、上徳間分館は全ての種目に参加でき、うれしく思いました。天候にも恵まれて、ひさしぶりに楽しい運動会ができました。

昨年は雨で中止になっているため、公民館役員はほとんどが運動会経験のない方々に、ご協力いただきました。ありがとうございました。

伝統ある障害物競走「幾山河（いくさんが）」

聖火を持ってリレー

戸倉公民館 上山田公民館
大人としゃべり場「トークフォークダンス」

11月11日（月）に戸倉上山田中学校で「トークフォークダンス」というイベントを同中1年生全員と、地域の大人約140名に参加いただき開催しました。

司会者からルール説明を聞いている間は、会場内は緊張している雰囲気を感じましたが、会話が進み内容が深まるにつれ、参加者たちの笑顔も広がっていきました。思わず笑い声がこぼれるシーンもたくさんありました。異世代がお互いを尊重し、理解し合うことで生まれる心地よいコミュニケーションが会場を包みこんでいました。

参加した大人からは「難しい質問にも一生懸命考えて話してくれる姿が素晴らしかった」と感想がありました。

一方で中学生からは「地域の人と話すのが苦手だけど、意見交換できてよかった」「今日のことを将来に生かしたい」という感想がありました。お互いに、発見があったり、中学生が感じる感動や喜びを共有できたりしたようです。

テーマに対し真剣に話しています

正直なところ、生徒約140名に対し大人約140名を募り、対話する機会を作ることはとても大変なことでした。

昨今核家族化が進み、家族以外の大人と会話する機会が減りつつある状況です。地域の人々が集まり、世代間交流が図られる場を企画することも公民館の役割のひとつではないでしょうか。

参加いただいたみなさま、協力いただきました千曲市社会福祉協議会、戸倉上山田商工会のみなさま、本当にありがとうございました。

総勢約280人！体育館に会話が響き渡ります

上山田公民館
市民運動会リターンズ！

八坂　若林　弘

9月29日（日）、第22回上山田地区市民運動会は、コロナ禍で中断されていたため、5年ぶりに開催され、待望のイベントになりました。

当日は今にも泣きそうな曇天。早朝から準備を進め、開会式を迎えました。やはり、期待とは裏腹に雨が降り出し、参加者はテントに避難。式は縮小を余儀なくされたものの、競技が始まる頃には雨が上がり、時折晴れ間も見える涼しい気候に恵まれました。

大人たちが真剣に競い合い、上山田保育園の園児たちが元気いっぱいにダンスを披露するなど、選手も観客も一体となって楽しむ姿が見られました。

大人も子どもも１つになった玉入れでした

白熱した最終種目男子リレー

その一方、競技におけるわが八坂分館の得点順位は、最終競技の一つ前、綱引きが終わった時点では中央分館と僅差の2位。その後のリレーでは、女子は八坂分館が優位に、男子は中央分館にリードされ、順位はますます混沌としていきました。

その後の閉会式での成績発表では、なんと中央分館と同点で優勝！多くの苦労を共にした分、同点でも喜びはひとしおでした。そして、何よりうれしい収穫であったのは、分館内の懇親と他分館との交流が深まったことです。こうしたコミュニケーションが図れる場は大切だと改めて感じました。

このように有意義なひとときであった運動会。少子化や人口減の影響で、これらのイベントの規模が変わる可能性があることは否めませんが、そのような状況下でも、運動会が続くことを心から願っています。

保育園児たちの元気いっぱいのリズム

稲荷山公民館
スポーツ大会に参加して

東区　堀内　優子

10月6日（日）、知人と共に稲荷山公民館交流スポーツ大会に参加しました。3人で1チームとなり得点を競うチーム対抗戦でした。私はスポーツが得意ではないため、どのような競技を行うのか、ドキドキしていました。

種目名を確認すると、カローリング、ディスゲッター、ボッチャなど、名前だけでは想像のできないものも多かったです。実際にしてみると、競技中に相手と接触するようなものではなく、順番にボールを投げるなど、老若男女が楽しめるようになっていました。

特に面白かった競技は、ボッチャです。2チームで行い、カラーボールを順番に投げます。そしてそのボールがジャックボールに、より近かった方のチームが得点を獲得するというスポーツです。

ディスゲッターに挑戦！

ただボールを投げるだけでなく、相手のボールを邪魔したり、ジャックボールを動かしたりと、各チームがさまざまな戦略を考えていました。さらに、ファインプレーにはみんなで盛り上がったりと、チームの垣根を越えて、交流会を楽しむことができました。来年もぜひみんなで盛り上がる交流会を行ってもらいたいです。

優勝した「たっつぁんチーム」

リレーエッセイ

あんずと八十歳の私

羽尾　関　清春

異常に暑い日が続いているある日、戸倉公民館より来年80歳になる人への写真撮影の連絡がありました。もう80歳になるのかと改めて自分ながらに驚きました。

その後、公民館報に載せる原稿の依頼があり、テーマは「自由に」とのことでした。思うがままに書いてみようと思います。

私は昭和20年９月に生まれました。長く続いた戦争も８月に日本は敗戦し、米国の占領政策の混迷を極めた時代の中で生活をしてきました。小学校時代は、下駄、草履、おさがりの服、冬には半纏を着ていました。食料、物資なども少ない時代でしたので、家族全員で畑に出て、食べ物を作っていました。

神社などに行くと、白服の戦傷者の痛ましい姿が見られ頭にこびりついています。戦争で肉親を亡くされた家族、帰還された人。平和な社会であって欲しいと願いつつ、そんな人生を繰り返しながら戦没者追悼式にも出席してきました。

定年退職（消防、農業共済）をしてから、育成会、補導員、区長などを経験させていただきました。また、退職してからは、りんご作りから、あんず栽培へと切り替えて励んでおります。

あんずは花が咲く頃、冷害や霜などに弱く、またせっかく大きくなったあんずの実に、雹が降ったこともありました。しかし、だんだん地球温暖化により、今年のような暑い日の中の作業は、体にこたえました。あんずだけに限らないことですが…。

冠着山とあんず

「杏が豊姫により、松代藩に」

宇和島藩二代藩主伊達宗利の娘、豊姫（12歳）は、松代藩の三代藩主、真田幸道（15歳）と結婚しました。真田家のお屋敷は、江戸城に近い桜田。伊達家は、江戸城から離れた麻布にありました。伊達家の庭には、杏の木がありました。杏は咳止めの薬として栽培していたと言われています。

豊姫が持参した杏の種を真田家の庭に植えました。

飯縄山とあんず

参勤交代により殿様は、一年毎に領地と江戸で暮らすことになっていたので、殿様は松代に帰るとき、杏の種を持ってきて領地に植えました。松代藩では、咳止めの薬として財政に役立たせました。

何百年前の杏が今も栽培されており、市内では森、倉科、更級地区等で栽培されています。豊姫が輿入れする際、杏の種を持参したと言う長い歴史とロマンの豊姫物語です。

現在は、年のせいか、足腰が年々衰えてきておりますが、篠ノ井にあるボーリング場で25名の仲間と一緒にストレッチとグループ対抗戦で体力維持に励んでおります。あんず栽培と２本立てで頑張っているこのごろですが、いつまで続くかわかりません。できる限りは続けていきたいと思います。

現在、あんずは千曲市の市花であり、生食用、加工用、お土産、観光名物になっています。あんずのふるさと宇和島へ一度は行ってみたいと思います。

令和６年度 千曲市成人式 のお知らせ

日時

令和７年１月12日(日)

・受付　午後12時50分～午後１時20分

・式典　午後１時30分～

会場　上山田文化会館

※周辺道路の混雑が予想されます。送迎または乗り合いでの来場にご協力下さい。

成人式対象者

平成16年４月２日から平成17年４月１日の間に生まれた市内に住所がある人と、市内の小学校または中学校に在籍した人です。

※市内に住所のある方及び千曲市立の小・中学校に在籍されていた方には11月中旬に案内状を送付しています。

お知らせ

千曲市PR大使の鬼越トマホークが出演予定です!!

問い合わせ先

埴生公民館（令和６年度成人式担当館）

TEL 026-272-0055

または、最寄りの公民館まで。

※「館報ちくま」及び「もっと知りたいふるさと」は千曲市ホームページでご覧になれます。

もっと知りたいふるさと 101

桑原の浄光庵

寛永（1624～43）のころ、龍洞院前の元町に笑月洞春和尚を住職とする龍洞院の門寺「常光庵」があり、これが「浄光庵」の前身と言われています。

この寺は龍洞院八世の舜庵嶺尭和尚を開山としており、笑月洞春は開基と二世住職だったと伝えられています。

元禄3（1690）年火災で焼失したものの宝永年間（1704～09）の九世住職のころまでは同所にあったとされています。

その後、明和2（1765）年龍洞院十五世の梅峯雄松和尚が地蔵堂に住んで堂宇を建立し、「常光庵」として元町にあった門寺を当地に再興しました。その後約10年間程無住の時を経て、天保10（1839）年に現在の寺号「浄光庵」と定まりました。

また明治30（1897）年浄光庵内に治田学校が設立されたこともありました。

浄光庵は龍洞院とは特に関係が深く、浄光庵四世の大柱雄薫和尚は龍洞院へ移るなど他寺の住職に迎えられた和尚もいます。

本尊は釈迦如来、脇侍は文殊菩薩と普賢菩薩になります。総門をくぐって境内左に「萬象現」の扁額が掲げられたお堂があります。

このお堂は西の山手にあった旧金毘羅堂を移築した建物であり、堂内中央に彩色の美しい延命地蔵が祀られています。左に聖観音像、右には胎蔵界大日如来の座像が置かれています。

六地蔵は総門手前の右側にあり中央に観音像が祀られています。釈迦の死後は無仏の時代が続き、その間人々を救うのが地蔵で六体に変化し、六道を分担して苦しみ喘ぐ者を助けるとされ、同じように六道の世界で人々を救う六観音の考えがあるため、六地蔵の中央に観音像を据えたとされています。

浄光庵の六地蔵は桑原の若い衆にとってありがたい存在だったと言われています。冬になると若い衆は藁仕事の他にこれといった仕事もなく、小遣いも不足がちでした。特に寒い夜、暇を持て余す若い衆は寺の門前に集まり、六地蔵を持ち出して力競べをしました。その後で夜更けに町中へ運び出し、目ぼしをつけた家の大戸へ水を撒いて開かないようにし、その前に六地蔵をずらりと並べました。

翌朝、置かれた家の主は「お賽銭」と言って若い衆の代表にいくらかの金銭を渡し、六地蔵の片付けを頼みました。若い衆は「生き仏が供養してやる」と称して元の場所に戻し、貰ったお賽銭で一杯やったものだと伝え、これを「六地蔵の門付」と呼んでいました。昔は各地で行われていたようです。

浄光庵副住職　宮本　健一

「萬象現」の扁額が掲げられたお堂

浄光庵の本堂内部

中央に観音像を祀った六地蔵

編集後記

各館の活動報告では、スポーツの話題が多く出てきました。埴生の鋳物師屋分館では、ボッチャも2回目となり、昨年は準優勝でしたが、戦略を考えて技法も上がり優勝に結びつき、和やかに終わったようです。他の種目でも、人数が少ない地区では、子どもが大人の種目に入り、合同での競争をがんばっていました。

コロナ感染前の種目に近い競技を再開した地区もありました。上山田の市民運動会では、保育園児たちのダンスの披露もあり、楽しむ姿が見られました。ぜひ、各分館活動報告にも目を通してください。

子ども科学教室に参加した6年生の文章には、中学生の科学班が実験を進め、その内容を小学生がまとめていて驚きました。他の地域でも開催できれば良いですね。

「リレーエッセイ」では、「千曲市のあんず」は、宇和島藩から来たことが書かれていて、私は関西の友達にそのことを伝えました。多くの人々に知っていただければうれしいと思います。

（上山田　M）

発行／千曲市公民館運営協議会　編集／千曲市公民館館報編集委員会　電話026－272－0234　FAX026－272－7167　印刷／㈲ナガト印刷